万葉学習
～万葉の庭で学ぶ～

大和ハウスグループ みらい価値共創センター“コトクリエ”を取り囲む『万葉の庭』。
庭を彩る、万葉集にも詠われ、古来日本人に愛されている草木を通して、暮らし・思想・言霊だけでなく、造園・本草・生態学などの観点からも日本の文化を学ぶ連続講座です。
大和ハウス工業と奈良女子大学の地域共生コラボレーションプログラムとして、全7回の講座を予定しており、今回は第5回目を下記の通り開催します。
平城(なら)の文化を知り、現在を学び、古の文化に触れることにより感性を磨き、豊かな発想力を育んでください。
また今回は第2部として、奈良県吉野山の桜保全活動を行われている、公益財団法人吉野山保勝会の福井副理事長にご登壇いただき、奥村教授・森山氏との対談形式でお話しを伺います。

・開催日 ： 2023年8月26日(土)
・当日の流れ：

【受付】 12:45～13:15
【第1部】 13:15～14:50
講演「古代の庭園－万葉集の歌から－」
“万葉の庭”散策
講師　奈良女子大学 文学部言語文化学科　教授　奥村 和美　氏
【第2部】 15:00～16:00
対談「吉野山の桜について」 ※詳細は裏面を参照ください

第5回“古代の庭園 -万葉集の歌から-”

【第1部】13:15～14:50
平城京遷都後の万葉集の歌には、庭園において詠まれた歌が数多くあります。序文が元号「令和」の典拠として有名になった巻五の梅花歌も、そのような庭園で詠まれた歌々の一つです。庭園を造りそこで宴を開いて和歌や漢詩を作ることは、当時の貴族達の、最新の文化的営みでした。今回は、その庭園に関わる基本語彙、ニハ・ソノ・ヤド・シマなどを万葉歌を通してわかりやすく説明します。そして、庭園で育てた植物を愛でる歌と山野に自生する植物を愛でる歌とを、それぞれ梅と桜を例にとって味読・鑑賞し、古代の人々の自然との関わり方の一端に触れていただきます。

【第2部】 15:00～16:00　対談「吉野山の桜について」

大和ハウスグループでは2008年より、創業者ゆかりの地・奈良県吉野山を中心に、日本を象徴する花である“桜”と、これまで大切に受け継がれてきた素晴らしい風景を次世代につなぐ活動を実施しており、公益財団法人 吉野山保勝会と協働で苗木育成事業に取り組んでいます。

吉野山の桜を長年大切に育成してこられた吉野山保勝会の福井副理事長をお迎えし、山の歴史や、万葉集にもあるヤマザクラの歌、現在の桜保全の活動状況、そして次の世代に吉野の桜をどのように引き継いでいくのか等について、ご対談いただきます。

奈良女子大学 文学部
言語文化学科
教授　奥村和美　氏

公益財団法人吉野山保勝会
副理事長　福井 良盟　氏

株式会社森山景観技術事務所
景観プランナー　森山 明　氏

みらい価値共創センターの地域展示コーナーでは、2023年7月より吉野山保勝会による桜保全活動について展示中です。当日はそちらも是非ご覧ください。※2023年9月末まで

参加申込み

右の二次元コードより、必要事項をご入力の上、お申込みください。

本講座のお申込みにあたりお預かりした個人情報につきましては、大和ハウス工業株式会社が適正に管理し、今後大和ハウスグループ みらい価値センターが主催する講座、プログラム等のご案内でのみ使用させていただきます。

お問合せ先

大和ハウスグループ みらい価値共創センター
「万葉学習～万葉の庭で学ぶ～」運営事務局
0742-93-8062／kotokurie_event@daiwahouse.jp

大和ハウスグループ みらい価値共創センター
奈良県奈良市西九条町4丁目1番1号　〒630-8453
https://www.daiwahouse.co.jp/kotokurie/